



かえで
楓

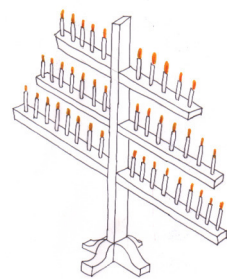
お盆号

しじゅうはち

四十八の由来

「どうして四十八を灯すのか」

もうお盆の季節がやってま
いります。季節の移り変わりは
早いものです。



今年、故人の初盆をお迎えに

なるお檀家さんは、色々お盆の準備に追われていること
だと存じます。そこで、少しお盆に灯す『四十八』につ
いてお話ししようと思います。

そもそも「四十八」はなぜ行うのでしょうか。

それは、『弥陀の四十八願』に由来します。

昔、まだ阿弥陀様が如来ではなく菩薩であった頃、「こ
の世に生きとし生けるすべての人々が命果てた時には、
必ず極楽浄土に迎えて救ってあげたい。」という願い
(誓願とも申します)を立て、その願いがかなって阿弥
陀如来になられたと言われていると存じます。その阿弥陀様の
四十八願にあやかり、極楽浄土に往生した故人の幸福と
お盆ならではの精霊迎への風習が一緒になり、阿弥陀
様の願いの数である四十八の口ウソクの迎え火を頼り

に、お盆に極楽浄土よりこの世に戻って来る目印として、
初盆を含め三年間お盆の間、火を灯します。

さて、以前お檀家さんからこういう質問を受けました。

『四十九日(満中陰忌)が来ない内にお盆を迎えたら、

四十八は次の年からするものなのですか?』と…。

皆さんの中にも同じ疑問をお持ちの方もいらっしゃる
と思いますので、このことについても説明したいと存
じます。

まず、故人が極楽に完全に往生するのは、四十九日の
期間を終えてからと考えられています。そして、極楽に
往生すると六つの神通力(六神通)を授かると言われ、
その力は次の通りです。

- 一. 天眼通……普通では見ることの出来ないもの
(未来など)を見通す力。
- 二. 天耳通……遠くの声や音を聞いたりできる力。
- 三. 他心通……他人の考えていることを知る力。
- 四. 宿命通……自分や他の人の前世を知る力。
- 五. 漏尽通……煩惱を消し去る悟りの智慧。
- 六. 神足通……自分が行きたい所に自由に現れるこ
とができる力。

次の年の最初のお盆が初盆となり、その年から四十八を
行うという訳です。

そもそも、お盆の由来は、昔お釈迦さまの弟子である
目連尊者が、餓鬼道に落ちた自分の母親を救うために、
お釈迦さまの教えの通り、ごちそうを「お盆」に乗せて、
仏さまや僧侶、その他大勢の人々に供養して、その功德
によって亡き母が無事極楽へ往生できたということが
語源となっております。

私は、仏教用語としての盆というより、盆という文字
そのものが好きです。

「盆」という漢字は「皿を分ける」と書きます。つま
り、自分の食事を自分だけが食べるのではなく、里帰り
したご先祖様をはじめ他の人にも食事を分け与えて、み
んなで楽しく生活する気持ちや生き物すべてへの愛情
が一字に込められていると思いませんか? 『みんな
仲良く笑顔で過ごす。』これが一番のお盆の正しい過ご
し方なのでしょう。

副住職 高谷 大悟



裏面の「お盆期間中
のお願い」などにも、
目を通して下さい。

お寺で結婚式

今年の三月二十九日に、慈光寺檀徒の大家家の勝盛さんと津内口家のさおりさん両家の結婚式を慈光寺本堂にて執り行われました。

新郎の勝盛さんと私は同級生とい

う縁もあり、新郎新婦とも良き友人

です。これからの二人の新しい生活を祝して心よりご祈念申し上げます。



普段、皆さんがイメージするお寺は「葬式や法事などの不幸があつて行く所」であろうと思います。確かに、私ども和尚の仕事の大部分がそれに当てはまるので、否定は致しません。

ただ、『禍福は糾える縄の如し』（災いと福とは、縄をより合わせたように入れかわり変転する。）ということわざがあります。

人生は、このことわざの通り、楽しいことや悲しいことの連続です。むしろ不幸に感じる人が多いのかも知れません。ただ、喜びも悲しみも阿弥陀様に一切まかせて念佛「南無阿弥陀仏」を称えて日々を過ごしていく、そういう気持ちで暮らしていく方がより一層心穏やかな毎日を送れると思います。

楽しいことや嬉しいことがあつたら、ご先祖様へのご報告がてらお墓参りをするごことも忘れてはいけないかもしれませんね。

お盆中のおねがい

お墓へのお供え物やゴミは必ず持ち帰りましょう。

お供え物やゴミは必ず持ち帰り皆様各家で処分されるようお願いいたします。

特にお供え物を放置すると、カラスが食い散らかしたり、スズメバチが集まってきたりと他の参拝者の方に非常に迷惑がかかります。

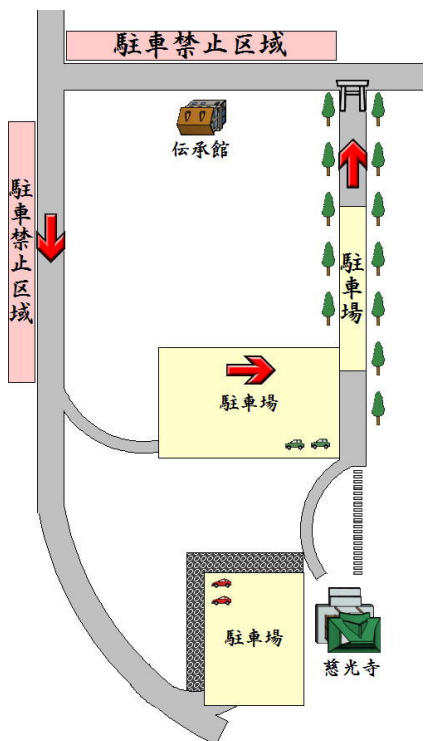
ご先祖様が里帰りなさる慈光寺の景観を汚す事のないように重ねてお願いいたします。



お盆期間中の参道の駐車場利用について

昨年、檀家皆さんのご協力のもと、石垣駐車場も出来ましたので、だいたい駐車スペースに余裕が出来ましたが、お盆期間中は非常に駐車場が混雑します。

お盆中は杉並木の参道を開放いたしますので、駐車場が混雑している時は、参道もご利用下さい。



お焚き上げ

古くなった角塔婆や板塔婆、使わなくなった仏壇などはお盆を迎える前に処分しましょう。自分たちの家同様にお墓もきれいにしてお先祖様をお迎えしましょう。

慈光寺では毎年左記によりお焚き上げを行っております。

お焚き上げを希望する方は指定の場所に前日までに持ってきておいて下さい。

日にち 八月十三日
場所 慈光寺新墓地脇 立て札前

寄付紹介

客殿の会食会場として利用している座敷の襖の張替を、かわさき栄食さんからご寄付して頂きました。

お寺の雰囲気合った色彩で、座敷の重厚さが増しました。

この場を借りて、紹介ならびに御礼申し上げます。

